

ヨコハマ市民まち普請事業
第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ① 2号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

<p>整備提案名 (25字以内)</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <p>シニアパークと（ふるさと）づくり</p>
<p>提案グループ名 (25字以内)</p>	<p>左近山団地二街区住民有志</p>
<p>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年2回全世帯による「さわやか運動」（二街区内一斉清掃） 2. グリーンクラブを中心に季節の花々の花壇づくり（8カ所） 3. 小川と池をつくり癒しの空間として自然環境の確保に努め、虫を飛ばす計画をしている。 4. ちびっ子プール実態調査（夏休み中24日間オープン、延べ748名利用。二街区の子供422名、他地域から326名） 5. 餅つき大会。餅米80kgをつき住民へ配布。（二街区の子供43.6利用） 6. 納涼祭では防災訓練を兼ねた、発電機による夜間照明の実施。
<p>整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)</p>	<p>旭区左近山1997番7～8（中央公園周辺） ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p>
<p>整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)</p>	<p>二街区を「新たなふるさと」に相応しい環境に整備し、自然豊かな地域の協力を得て子供達が農作業や山仕事を体験できる「第2のふるさと」を作り、同地と親密な協力関係を築く（ふるさと）運動の展開を検討している。 <small>→丹沢厚木などなるべく近い場所を想定して</small></p> <p>その一環として、若い子育て世代から中高年世代が集えるよう下記事業により中央公園区域を整備し、自然発生的な同世代間・世代間交流の促進を図りたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康ロードなど高齢者の健康増進のための諸施設の開設。 2. 憩いのサロンとしての「ログハウス」の建設（地域住民による協働建設） 3. 第二「ふるさと」からの材料（間伐材）の再利用。 4. 乳幼児の利用に配慮した遊具施設などの整備。 5. 厨芥類（生ゴミ）のコンポスト化。発生する堆肥は二街区と（第2ふるさと）とで循環する。 <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 1,250 万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<p>横浜市健康福祉局が平成19年度に進めている災害時要援護者支援システム策定モデル地区として（市内18区中、旭区を含む7区が選定された）旭区は、日頃の自治会活動が認められ二街区自治会が推薦されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人住まいの高齢者の健康づくり（自立度の向上） ○ 引きこもりがちな人たちの積極的参加への動機づくり。 ○ 老人の知恵を生かした子育て支援。 ○ 幼・青・壮年代の本物の自然から学ぶ心の育成を目指す。 ○ 地域の安全・安心の街づくりのために防犯・防災の啓蒙をし、顔の見える地域作りを目指す。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>各年代の人がそれぞれ協働しあって</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティハウス (ログハウス) の建設によってコミュニティの場ができる。 2. シニアパーク利用により健康づくりの場となる。 3. 自然と緑を守る心が「ふるさと」づくりの気運となる。 4. 子育てはみんなの手で行う。 5. 防犯・防災の啓蒙に役立つ。 6. 救急対策に役立てる (AEDの保管場所など)。
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>二街区自治会・管理組合・ボランティアにて運営組織を立ちあげる。</p> <p>建設時にたずさわってくださった、P.T.A、小・中学校の児童生徒、地域住民の協力を得て運営します。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>都市と農村の共生関係を創造し、資源循環形社会を目指す第一歩として、二街区の外に「第2ふるさと」を作る。二街区に多い落ち葉や「生ゴミ」をコンポスト化し、「第2ふるさと」に提供する。「第2ふるさと」からは「ログハウス」用間伐材や、農産物などの供給を受ける。更に同地方の方々の指導・協働により「餅つき大会」用の米の栽培にも挑戦したい。</p> <p>○「ヒト」 ・地域の小中学校・P.T.A、生徒・児童の協力が得られる。</p> <p>○「モノ」 ・建設については、メンバー以外の協力者・協力団体の専門知識とノウハウ及び機材を利用できる。</p> <p>○「カネ」 ・資金は自治会、管理組合より提供を受ける。必要に応じてバザーなどを開催して資金を集める。</p> <p>○「提案PR」 2 ・シニアパークと (ふるさと) づくりは、住民相互の交流強化を目的の一つとしており、災害時要援護者システムの基盤整理にもつながる。</p>

注4) 「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

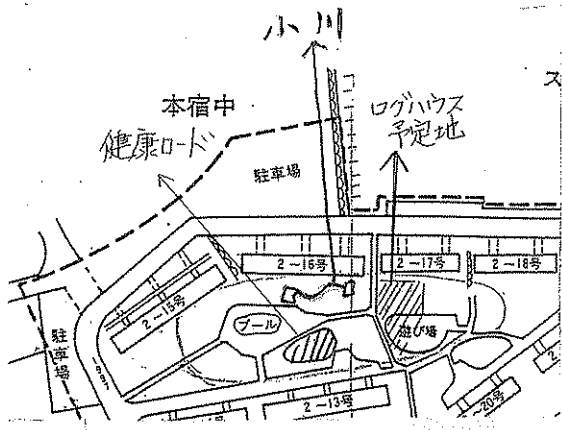
- 「ヒト」の例
 - ・地域のP.T.Aから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
 - ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
<p>区分所有法に基づき、遊園地の用途変更が必要なので、第39回管理組合総会で説明している。必要に応じて臨時総会を開催する。(3/4の賛成が必要)</p>	<p>第39回管理組合総会で説明し概ね賛同を得ている。</p>

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者 (会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

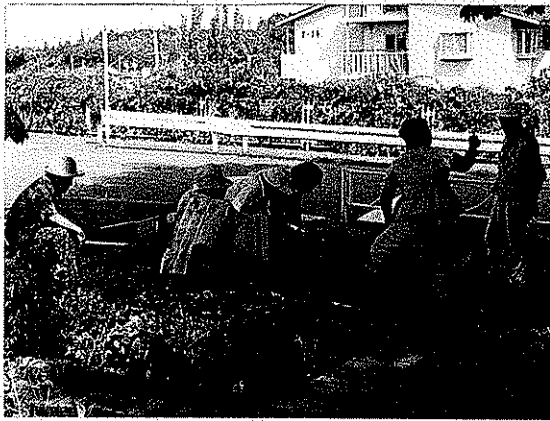
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



左近山ニ街区自治会図 整備場前



小川 完成。川の長さ20m。巾1.5m



グリーンクラブ花壇作業中



小川防水シート貼り



整備された花壇



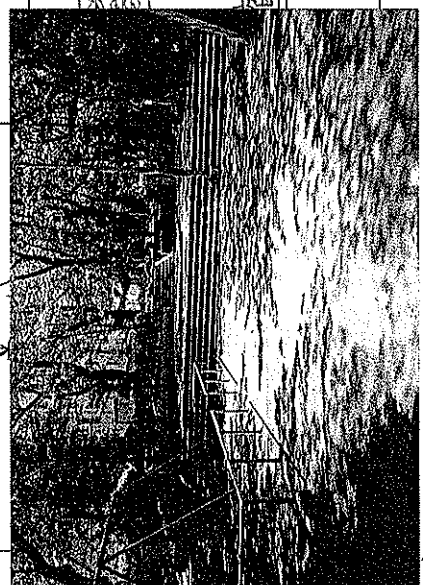
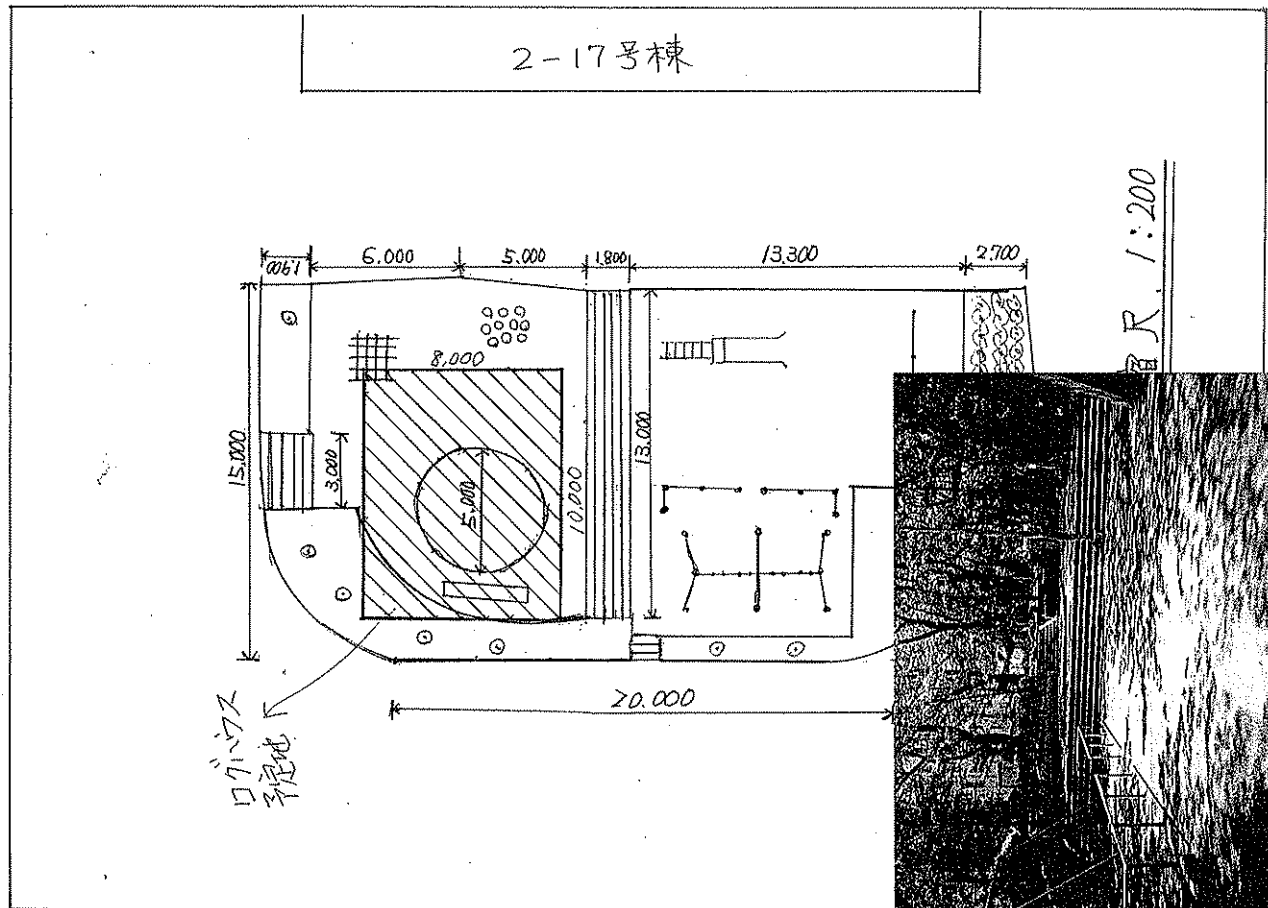
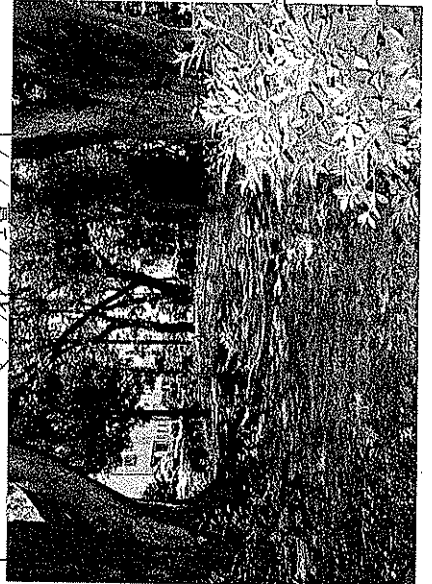
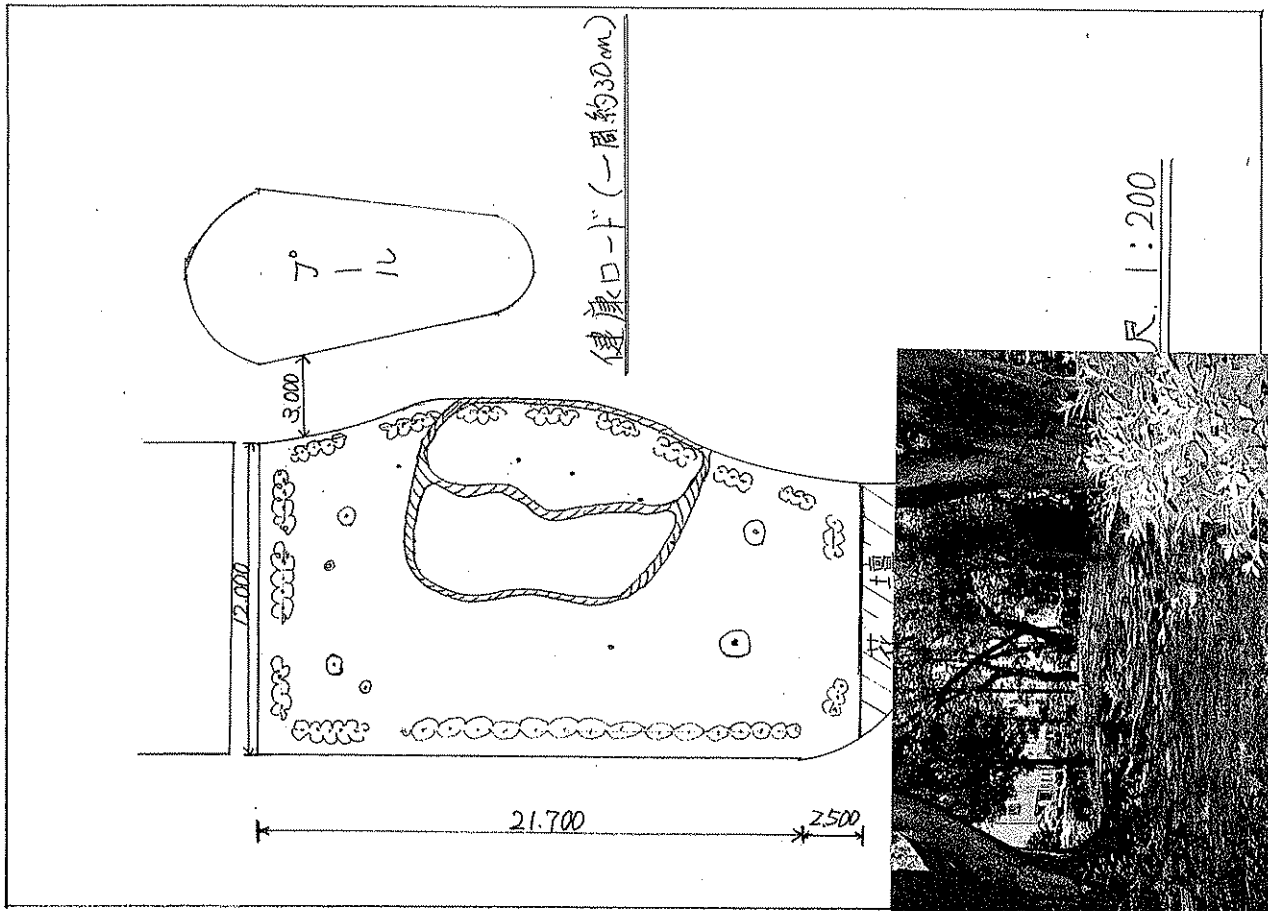
「さわやか運動」清掃用具準備50セット

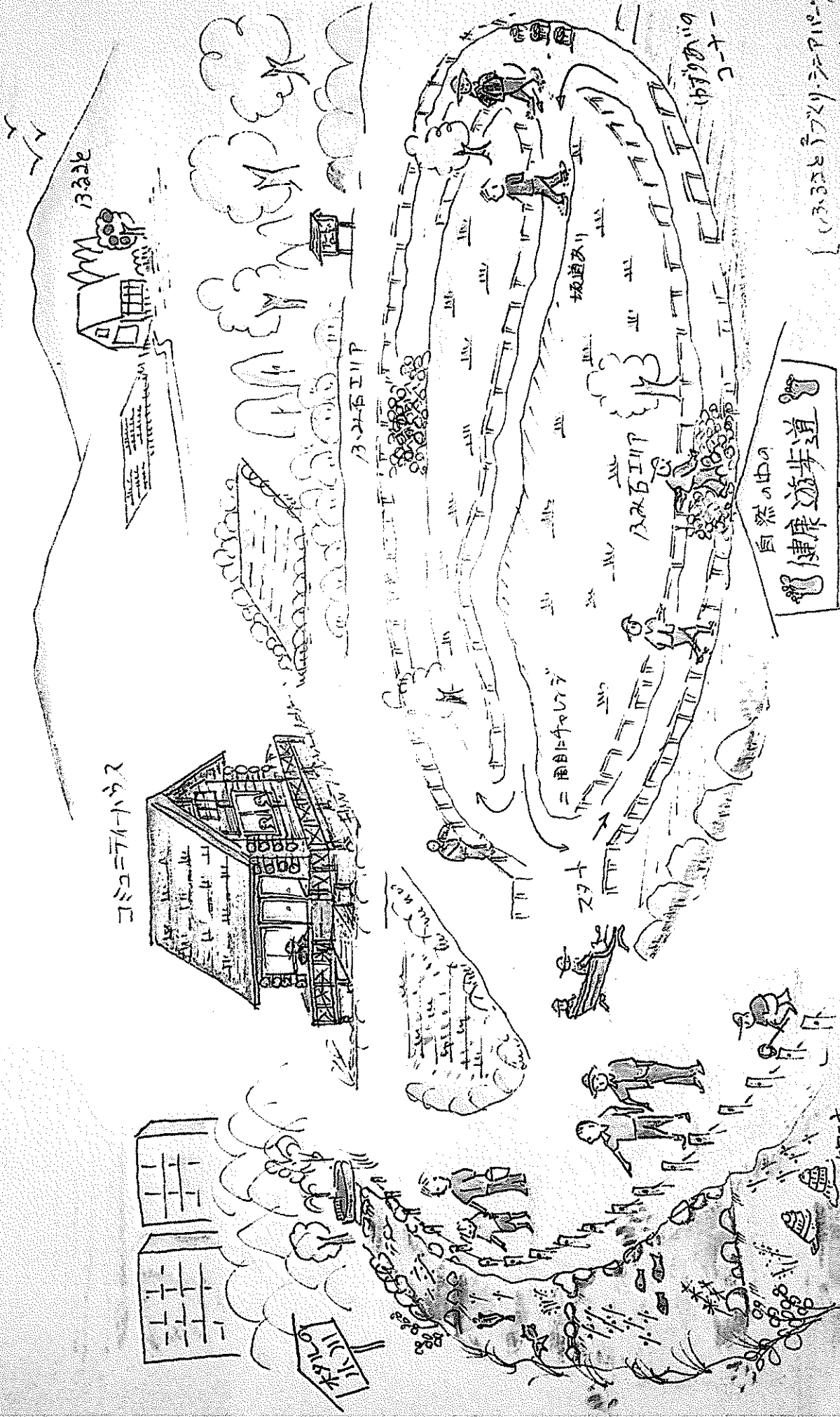


グリーンクラブのメンバー



清掃後の終了状況(45Lx500袋)





バス

コミューンハウス

3225

坂道あり

3224

自然の中の健康遊歩道

{ (3225と3224) }
(ヨコハマ市立図書館)

ヨコハマ市立図書館
ヨコハマ市立図書館

2007-5-5 JIN